

市民力かわら版

第26号

平成23年11月15日
 編集/市民力かわら版編集委員会
 発行/矢板市総合政策課
 電話：0287-43-1112
 ファクス：0287-43-2292
 Eメール：
 yaita@city.yaita.tochigi.jp



旧長井小学校で「秋祭りを楽しもう」

東日本大震災被災地支援・サンマ祭りも同時開催

十月二十三日(日)旧長井小学校で、ふるさと創年大
 学主催の秋祭りが開催され、
 りんごの里に大勢の人が集
 まり、さまざまなイベント
 が行われました。

最初は「荒井家住宅」で
 開催されたこの秋祭り、廃
 校後の同小での開催は、今
 回で二回目で、通算三回目
 となりました。

開催実行委員会の澳原初
 男会長にお話を伺いました。

■次世代の子どもたちに伝え
 たいことがある。

四年前に、ふるさと創年大
 学生が、矢板市の伝統文化や
 伝承文化を「ふるさと矢板市
 の歳時記」としてまとめまし
 た。これらを次世代を担う子
 供たちに伝えるための実践活
 動の一環として秋祭りを開催
 することとしました。

■旧長井小学校の利用価値に
 着目

第一回目は荒井家住宅で開
 催しましたが、雨の場合の代

替場所を考えた場合、体育館
 も使える旧長井小学校の方が
 良いのではと考えました。校
 庭も広いし駐車場の心配も要
 らないので。

しかし、今回の場合も、で
 きれば屋外で実施したいので、
 雨のことが一番気になりました。



木造校舎の前で焼きそば

■今回は、被災地支援を目的
 のひとつに！
 二カ月前からこれまで三回打

ち合わせを行い、
 これまでの経験と、
 各団体との協力を
 得て、もちつき体
 験、竹とんぼ作り
 体験、ベーゴマ体
 験、模擬店などを
 開催することにし
 ました。

特に今回は、東
 日本大震災被災地
 支援をするため、大船渡市か
 ら直送した生きのいいサンマ
 の炭火焼を販売することにし
 その売上金全部と、その他の
 販売品の売上金の一部を支援
 金として大船渡市に贈ること
 になりました。

■今後も絆を深くする活動を
 続けます

この秋祭りは、矢板の次世
 代を担う子供たちが、伝統文
 化に触れることで、「ふるさと
 と矢板」に愛着を持ってもら
 うことと、心豊かでたくまし
 い子どもの育成を目指してい
 ます。



ちゅーりっぷ保育園児の太鼓演奏も

今後も、各協力団体と一緒
 に「心の教育」「地域づくり」
 「まちづくり」のための実践
 活動を通して、より
 一層絆を深くしてい
 きたいと考えていま
 す。

この秋祭りの印象
 を、矢板小学校五年
 生の藤田将君は、
 「ベーゴマを初めて
 体験したが、うまく
 出来て本当に楽しい」
 矢板東小学校三年生
 の矢野遥音さんは「初めて竹
 とんぼを作って、こんなに楽
 しむことが出来た」と二人と
 も満面の笑みで答えてくれま
 した。
 (H)



ベーゴマ名人に教わり初挑戦